



知るほどに素晴らしいハーブの世界。

県立相模原公園で園芸教室講師も務めるハーブ研究家の高山恵美子さん。ハーブと出会って十五年、以来ハーブなしには毎日の生活が考えられないほど、という高山さんにその魅力を語っていただきました。



秦野の市街地を抜けた小高い山の中腹に、高山さんのアトリエはありました。その裏山には斜面いっぱいにはハーブが栽培されています。遠くにまだ雪の残る丹沢を望む、空気が山の色に染まりそうな自然の中。そこにたまたま高山さんは、風景に溶け込んで、自然がよく似合う人という印象です。アトリエの中は、草木や花の強い香りにむせ返るよう。ドライにして吊された天井に、リース、つる（蔓）で編まれた籠、おもしろい形をした木の花瓶、無造作に置かれた切り株……。強い香りを、枯れてなお呼吸を続ける植物の生命力を感じてしまいます。「ハーブティーをどうぞ」と、高山さんが裏山から摘んできたばかりのミントとレ

このところハーブの人気が高まっていますね。ハーブという響きが、何となく外国のお洒落っぽいイメージということもあるでしょうし、またその香りに気分をリフレッシュさせる効果もあるとして注目されているようです。ハーブには実にたくさん使い道があって知らないうちに使っていることも多いんですよ。日本ではハーブは香草と訳されます。字のごとく香る草で、花、茎、葉が食用や薬などに使われますが、そのほかにも香りを楽しんだり、染色や美容にと幅広く利用されています。バセリとか、ミントやローズマリー、ラベンダーなどは、よく知られているハーブですが、私たちが日常食べているシソや、サンショウ、ショウガ、セリ、ヨモギなどもハーブなんです。昔からその国、その地に自生している植物で、季節の変わり目に食されるなど、体を整える働きをしてきたものも多くあります。暑い国では体を冷やす作用を持つハーブが料理に使われていたり、というふうですね。ハーブはもともと雑草ですから、育てるのにそれほど手間ばかりかせん。発芽率のいい種、いい土を選び、あとは自然にまかせていんです。苗で買ってきてもいいし、プランターを使えばベランダでも栽培できます。

春らしに溶け込む実用的な植物

ローズマリー

ミント

ラベンダー



モンバームでお茶を入れてくれました。ふわっと口の中に広がったのは、今までに経験したことのない新鮮な香り。自然のままの味がする、これがハーブなのかと、急に身近なものに思えてきました。



出会いは不思議な魅力が

私とハーブとのつきあいは、もう十五年ほどになります。ある時友人からハーブのブローチをもらったんですが、それをつけて仕事をしていたら疲れを感じなくなりました。とても不思議な感じでした。これはいったい何だろうと興味を持って、ハーブの本を読んだり、ハーブを栽培するようになったんです。だんだんその数も増えていって、今では百五十種類くらい育てています。おもしろいことに、同じ種類のハーブでも香りが違ったり、同じ茎から出ている葉でさえ微妙に香りが違っていたりするんです。ハーブにはそれぞれにいろいろな効用があるんです。精神安定作用もあれば、発汗や消化促進作用、殺菌や防虫効果のあるものも。私は肩こりや傷にも使っています。香りに包まれているだけで気持ちが安らぎますし、私にとってハーブは毎日の暮らしの中に欠かせないものとなっています。知れば知るほど、使い込むほどに、何て素晴らしいものだろう、と思わされますね。

自然の力に驚かされることも

ハーブと出会ったことにより、人とのつながりも深まりましたし、自然と接する機会も多くなっているような世界が広がりました。自然の素晴らしさもあらためて教えられたような気がします。

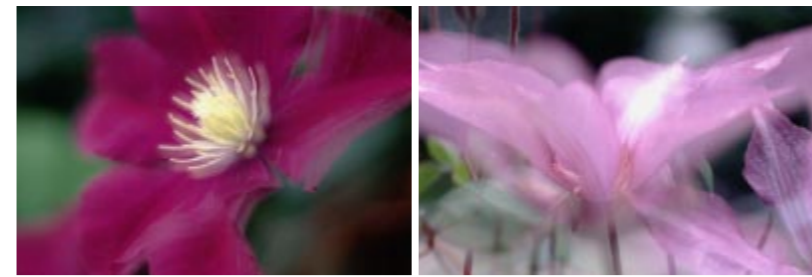
よく山に入り野草を探したりしますが、つるや松ぼっくり、枯れ枝など、いろいろな拾ってくるんです。ほかの人から見ればゴミみたいなものかもしれませんが、それを籠を編んだりリースを作ったりします。自然のただでやるから同じものではないんです、意外な形になったりしておもしろいんです。



高山 恵美子（たかやま えみこ）
一九五一年伊勢原市生まれ、同市在住。ハーブ研究家。ハーブ園「高山三水園」主宰。県公園協会、県園芸協会講師をはじめ、県内の公民館、生協などでも講師を務める。

例えばモミの木なんかでも、木が枯れて、十年、二十年と風化していつか、それがとても美しい造形だったりするわけです。拾ってきて磨いて花差しなどにすれば、そこでまた活かされますし……。本当に自然の力ですごくいい、と驚かされることはたくさんあります。

相模原市も緑豊かなところですね。公園も多いですし、相模川や樹齢何百年の大木といった雄大な自然がいっぱいありますよ。身近な自然にちょっと注意を払ってみると、意外な発見もあって興味ももっと広がります。自然の持つ力が気分をリフレッシュさせてくれますし、ストレスの解消にもなります。心と体の健康のためにも、自然が作ってくれたものの中で自分を見直す時間は必要ではないでしょうか。



Clematis

200種、7000株のクレマチスと
100種、5000株のアジサイたち

花の大合唱がはじまります。

クレマチスフェア

相模原麻溝公園では日本一の規模で咲き揃うクレマチスたちが、やさしい笑顔でご来園をお待ちしています。

5月9日(土)~17日(日)

アジサイフェア 6月13日(土)~14日(日)

相模原麻溝公園



さがみはら
グリーン
GREEN
Vol.12
平成10年4月29日発行
編集・発行/財団法人相模原市みどりの協会
発行所/〒228-0828 相模原市麻溝台2317番地の1 市立相模原麻溝公園内
財団法人相模原市みどりの協会 ☎0427 77 2860
財団法人相模原市みどりの協会機関紙



古紙配合率40%再生紙を使用しています



Hydrangea

財団法人 相模原市みどりの協会 平成10年度事業概要



『緑』は私たちの暮らしに潤いを与えてくれる大切なもの。窓辺に、庭に、また街や公園など、さまざまな場面に息づき、多くの恵みをもたらしてくれています。その緑を守り、次の世代につなげていくために、小さなことから、一人ひとりが出来ることから、考えてみませんか。財団法人相模原市みどりの協会では、緑ある豊かな街づくりを推進するため、市民のみなさんの協力も得ながら多彩な事業を展開しています。

公益事業の部

1. 緑化意識の普及啓発に関する事業

見て、触れて、理解してもらうための事業を積極的にを行っています。



クレマチス普及事業

「市の花アジサイ普及事業」

障害者地域作業所で育成した「アジサイ」の挿し木苗を、相模原麻溝公園アジサイフェアにおいて市民の方々に無料配布しています。

「クレマチス普及事業」

相模原麻溝公園の代表的な花として親しまれている「クレマチス」の普及を図ります。

「生垣見本園」事業

緑化センター内にモデル生垣を設置。生垣の作り方や手入れ方法などを紹介しています。

「花と植木に関する園芸相談」

地域に密着した園芸教室を開くことにより、花や樹木の理解を深めていただくため、協会と公民館の共催事業として実施しています。

「みどりの少年団」の育成

緑に親しみ、緑を守り育て、緑を愛する精神は、少年期から養うことが大切です。本協会の支援を受けて平成5年2月14日に市子ども会育成連絡協議会の組織のひとつとして相模原市みどりの少年団が結成されました。本協会は、公園、緑地等を利用した緑に関する学習会活動、奉仕活動、レクリエーション活動などの「みどりの少年団」活動を支援し、育成を図っています。

「花のふれあいサービス」

花による心のふれあいの輪を広げるため、季節の花にメッセージをそえて市内の老人ホームにお届けます。あわせて横浜銀行相模原駅前支店等の協力を得て店内に展示し、市民の方々に親しんでいただきます。

「緑と花のスポットガーデン」事業

相模原麻溝公園と相模原北公園にフラワースタン(計27基)を設置して、四季折々の花を入園者に鑑賞していただいています。

2. 都市緑化の推進に関する事業

市民のみなさんの力により、緑豊かな街づくり運動が進められています。



フラワーロード事業

「花のまちづくり・みどりいっぱい運動」

自治会、子ども会、幼稚園等を対象に花の苗、球根、苗木等を配布し、花のまちづくりを進めています。

「生垣設置助成」事業

地域緑化活動の一環として、身近な「みどり」である「生垣」を新規に設置する場合に奨励金を交付しています。

「フラワーロード事業」

「横浜水道みち」にコスモスやチューリップの花を市民のみなさんの手により育ててゆくことで、都市緑化の推進を図ります。

「みどりのバンク」事業

樹木や草花、種、苗などの「みどり」を譲りたい者、譲り受けたい方々の相互の情報を提供しています。

みどりの協会事務所(相模原麻溝公園管理事務所)に「花とみどりのインフォメーションボード」を設置し、みどりのバンク情報コーナーを設けています。

3. 機関紙その他印刷物の刊行

緑に関する知識や情報を広めるために、さまざまな印刷物を発行しています。

「緑化啓発ポスター」作成

4月(春のみどりの月間)、10月(秋のみどりの月間)の年2回緑化啓発ポスターを作成し、自治会などの協力で掲示しています。

協会紙「グリーン」の発行(第12号・13号)

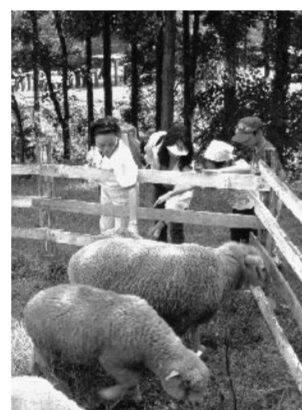
協会による緑化事業の紹介や、都市緑化に関する情報を掲載する機関紙を発行しています。

園芸豆図鑑の発行

園芸植物についての由来や育て方、品種等を解説したパンフレットを発行しています。

4. 講習会、講演会、展示会、その他催し物等の開催

多くの方に参加していただける、緑に親しんでもらえる催しがいっぱいです。



夏休み親子自然観察会

「夏休み親子自然観察会」の開催

親子で公園等の自然観察をすることにより、花や緑との親しみを深めます。

「園芸講習会」の開催

県立相模原公園「緑の相談所」との共催事業として、園芸に関する講習会を実施します。

「公園フェア」等への参加事業

相模原麻溝公園「クレマチスフェア」など、市内の公園や緑地で実施される市主催の行事等に協会として参加し、協会のPRおよび緑化意識の高揚を図っています。



クレマチスフェア

5. 市街地の緑地および緑地保全地区の保全に関する事業

市内に残る大切な緑を守っていくために、清掃活動などを行っています。



木もれびの森

「木もれびの森」美化運動

相模原近郊緑地特別保全地区内の樹林地(木もれびの森)の清掃を、自治会、学校、PTA等の協力で実施しています。

緑地等保全啓発事業

市内に残された緑地を将来にわたり保存し、有効に活用して行くための啓発事業を実施しています。

6. 公園施設等の受託事業

たくさんの方により楽しく利用いただける公園管理に努めています。

相模原市から公園緑地等の管理を受託し、市民の方々のニーズに応え、公園緑地等の利用サービスの向上を図るなど適正な管理を行うものです。また、今年度はかながわ・ゆめ国体の会場を市民の方々と共にたくさんのお花で飾り選手や関係者の方を迎える歓迎装飾事業に協力します。

収益事業の部

売店・自動販売機等の経営

相模原麻溝公園等に売店を設置し、公園を利用する方の利便を図ります。

相模原麻溝公園

公園においてよ



小園さんとお友達のみなさん(市内淵野辺)

麻溝公園は広くてアスレチックなど自然とふれあえるところが多いですね。アジサイフェアではアジサイの苗木をもらって子供といっしょに育てます。

今村さん(座間市)



座間市にも公園はたくさんありますが、今日はお出かけ気分です。ここは広い芝生があってとてもいいですね。それと動物にふれあえるのも楽しいです。フェアには今度来てみようかな。



これから一年でいちばん爽やかな季節がやってきます。公園でもたくさんのお花や青々とした芝生が、みんなおいでよと呼んでいるようです。今回は相模原麻溝公園においでの方とちょっとお話ししてみました。



田浦さんと坂井さん(市内中央) ふだんは忙しくてなかなか来ませんが、たまに子供たちとバドミントンなどに来ますよ。



宮本さんとお友達のみなさん(市内田名)

広くいつでもお花が咲いてきれいですね。子供たちにお花をむしったりしないように教えています。



大内さんとお友達のみなさん(町田市) 公園もそうですけど駐車場も広いのいいですね。いつも来ると写真を撮っていますが今日はいいかな。

緑といっしょに暮らす街づくり (財)相模原市みどりの協会 生垣設置助成事業

新しく「生け垣」をつくる場合、助成をします。

生け垣が作り出す緑の壁は、ブロック塀にはない、うるおいある緑豊かな空間を作るだけでなく、地震や火災などの災害時には延焼防止の役割も果たします。この機会に自宅の塀やフェンスを生け垣にしてみませんか。

お問い合わせは 財団法人 相模原市みどりの協会(相模原麻溝公園内 TEL0427-77-2860)



相模原市緑化センター(市内田名)内 生垣見本園

新規に生け垣を設置する人に奨励金を交付しています。 交付の条件

対象 次のすべてに該当すること。
市内の戸建て住宅(店舗併用住宅も可)の用地内に新たに生け垣を設置すること。
その土地が幅4メートル以上の公道に接していること。
生け垣の長さが3メートル以上であること。

植栽の基準 樹木の種類は生け垣に適したもので、原則としてみどりの協会が推奨するものとします。また、樹木の高さは90センチ以上で、本数は1メートルあたり3本以上です。
奨励金額 1メートルあたり5000円で、10万円を限度額とします。
手続き みどりの協会、みどり対策課、各出張所にある申請書でみどりの協会へ。案内書も同所にあります。

新たに生け垣を作る人が対象で作り替えは対象となりません。奨励金を受けるには事前に申請をし、交付決定を受けなければなりません。生け垣設置後は良好に管理しましょう。

平成10年度 園芸教室予定表

みどりを育む心を応援するため、県立相模原公園「緑の相談所」と共催で園芸教室を開催しています。園芸の基本から楽しみ方までいろいろ選んで学べる内容が盛りだくさんです。

右記の教室は予定のため変更になることがあります。毎月の「さがみはろ」で、ご確認のうえ、お問い合わせ申し込みください。

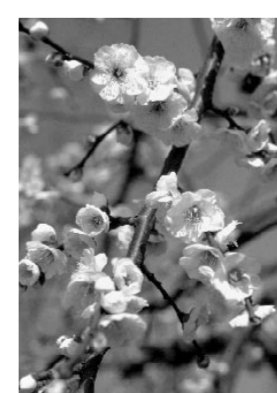
講習日	講習内容	講習日	講習内容
5月	17 観葉植物の作り方と殖やし方	11月	15 庭木花木の秋の手入れ
	24 作りやすい山野草		22 シクラメンとジャコパサポテンの上手な管理
6月	7 地被植物の作り方(グランドカバー)	12月	29 園芸のための土作り・堆肥作り
	28 7~8月の園芸作業(夏の花鉢の管理)		6 家庭果樹の剪定の仕方と肥料
7月	12 ペコニアの色々と育て方	1月	13 福寿草の鉢づくり
	26 押し花の作り方(1)		20 正月を飾る松竹梅の作り方
8月	2 押し花の作り方(2)	2月	10 1~2月の園芸作業(今年の花壇計画)
	23 家庭菜園秋の播きつけ		17 盆栽の整枝・剪定の実際
9月	30 9~10月の園芸作業(秋の球根等植えつけ)	3月	24 バラの整枝剪定と肥料
	13 秋のハーブの育て方・楽しみ方		7 春のハーブの育て方と料理の仕方
10月	20 初歩の盆栽実習	3月	14 サポテンの作り方・楽しみ方
	4 秋の山野草		21 春の山野草の作り方
	11 洋らんの作り方と冬の管理		28 3~4月の園芸作業
	18 観葉植物の作り方と冬の管理		7 洋らんの植え替えと株分け(洋らんの展示)
	25 11~12月の園芸作業		14 庭木・花木の春の手入れ
			21 プランターの野菜づくり

公園の花 相模原北公園



ピクニック広場外周

今回は相模原北公園ピクニック広場の外周に咲くウメをご紹介します。北公園は敷地内の雑木林を利用し、全体に植物園のような雰囲気を持つ季節感あふれる公園です。



ウメ バラ科の落葉高木 花期2-3月 春の訪れにさがみかけて香り高く咲きはじめる梅は、果実の食用も含めて私たちの生活の中で身近な植物のひとつとなっています。ここ相模原北公園には県園芸試験所相模原分場より寄贈された珍しい園芸品種を含む98種、約120本が植えられており、2月中旬より3月中旬頃まで、紅白の花と香りを楽しむことができます。

相模原北公園 JR橋本駅南口から(橋36)上天橋行き「下九沢自治会館」下車3分

山野草展

野や山でつつまじやかに咲く草花、今日はひとつひとつが主役です。

5月2日 ~ 4日

相模原麻溝公園管理事務所ホール